

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	村山総合支庁 地域産業経済課
実習期間	令和 元 年 9 月 9 日 ~ 令和 元 年 9 月 13 日
学生氏名	鈴木梨加
実習プログラム	1 日目：地域産業課、観光課概要、ワークグループ参加、 2 日目：おもてなしドライバーテキスト自習・問題回答、北関東セールスチーム資料準備 3 日目：ブランド推進部会資料作成、1day trip コンテスト応募案を検討 4 日目：新聞記事整理、ブランド推進部会準備、ブランド推進部会参加、 5 日目：1day trip コンテスト応募案の発表、新潟・庄内 DC タクシープラン打合せ、まとめレポート作成
学び・気づき (300 字程度)	山寺と紅花を関連づけて、どのようにすればもっと多くの観光客が「行きたい」と思う山寺をつくれるかを話し合う“山形と紅花”旅行商品ワークグループを行った。そこで、何事も事前に調べて準備をしなければ、幅広いアイデアを生み出すことはできないと学んだ。このワークグループでは多くの方と意見交換を行い、全体にフィードバックすることで、自分の視野が広がり、多彩な考え方ができるようになった。また、ブランド推進部会や新潟・庄内 DC タクシープランなどの会議に参加させていただいて、ツアーコースの商品化は、企画者・地元の方々・交通機関・印刷会社など、様々な方の協力によって実現されるものだと学んだ。
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	会議の場に参加させていただいたときに大勢の方がお集まりになり、名刺を渡すタイミングや相手方へのお茶の出し方など基本的なマナーがわからずに戸惑ってしまった。私は「学生団体 Liga」に所属しており、学外の学生や大人の方など様々な方にお会いする機会が多くある。そこで他の人々の振る舞いを意識して注意して観察することで社会人としてのあるべき姿を学んでいき、今回得た課題を自身の強みに変えていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300 字)	公務員は“パソコン業務が多く、出張などは少ないイメージ”だったが、実際は出張や外での会議が多く驚いた。行政の仕事は、多くの人と関わりながら進めていくものであり、同じ部署や他部署の職員はもちろん、関連機関との調整や連携が必要な場面も多々出てくる。村山総合支庁は管内密着型の仕事が多いため、直接住民の声を拾い上げる機会もある。そして、こうした

出会いの中から信頼関係を築き上げることが、仕事をスムーズにこなすことにもつながると思った。実際に 5 日間業務を体験させていただき、県職員として住民を代表する気持ちを持ち、人との関わりを大切にしながら仕事をしていくことも大きなやりがいになると実感した。

写真 (1~3 点)



山形県が作成しているパンフレットとおもてなしドライバーテキスト